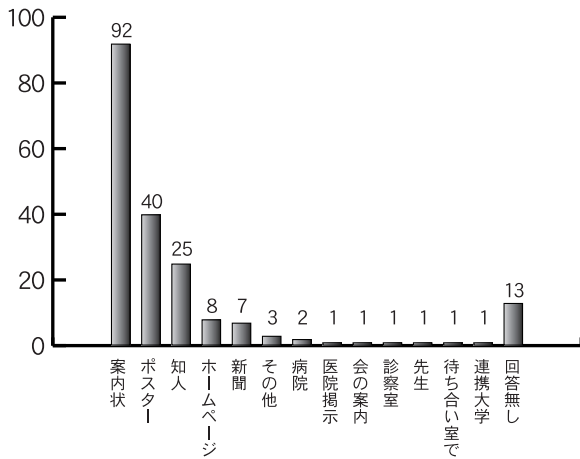


第4編

市民公開シンポジウム 「がんの克服へ」 アンケート集計結果

1. 参加者について

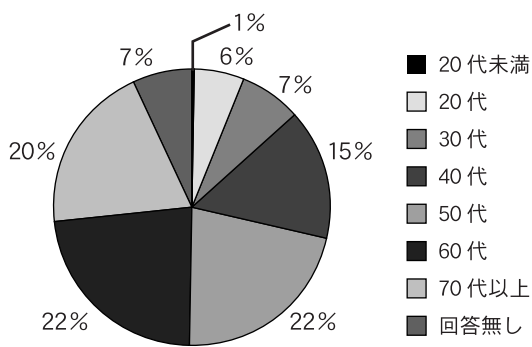
1-1 このシンポジウム開催を何で知りましたか？



案内状	92
ポスター	40
知人	25
ホームページ	8
新聞	7
その他	3
病院	2
医院掲示	1
会の案内	1
診察室	1
先生	1
待ち会い室で	1
連携大学	1
回答無し	13
総計	196

(回答者数：192、回答数：196 (複数回答あり))

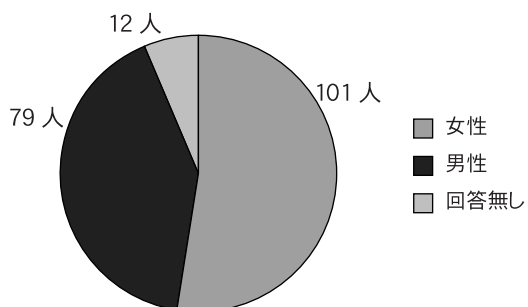
1-2 参加者の年齢



20代未満	1
20代	11
30代	14
40代	29
50代	42
60代	44
70代以上	38
回答無し	13
総計	192

(回答者数：192、回答数：192)

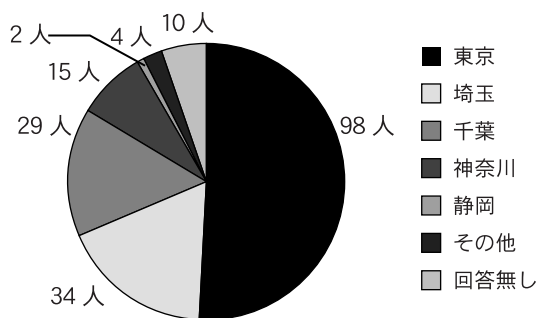
1-3 男女比について



女性	101
男性	79
回答無し	12
総計	192

(回答者数：192、回答数：192)

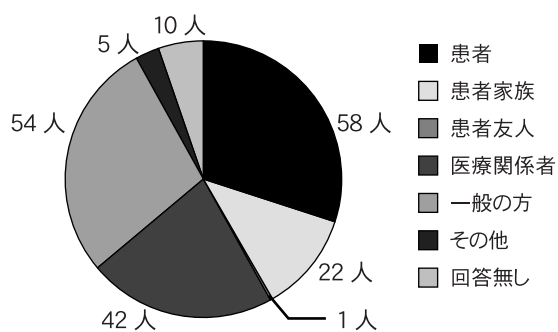
1-4 住まいについて



東京	98
埼玉	34
千葉	29
神奈川	15
静岡	2
その他	4
回答無し	10
総計	192

(回答者数：192、回答数：192)

1-5 立場について



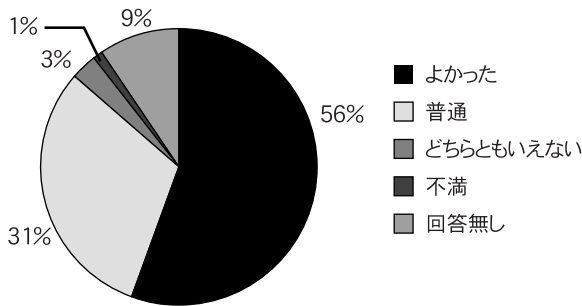
患者	58
患者家族	22
患者友人	1
医療関係者	42
一般の方	54
その他	5
回答なし	10
総計	192

(回答者数：192、回答数：192)

2. 講演について

小川理事長・学長「がんに対する順天堂の取り組み」

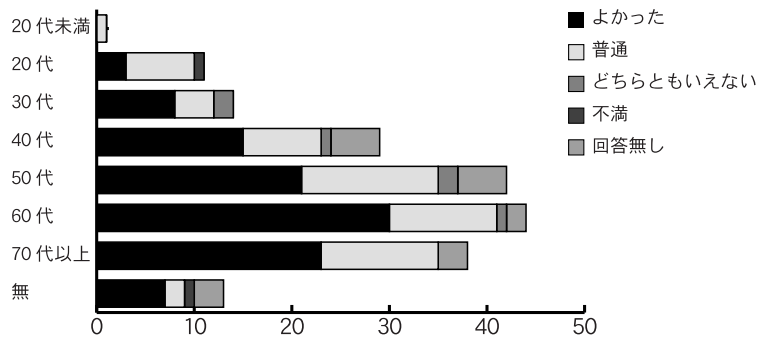
2-1 講演内容について



よかった	107
普通	59
どちらともいえない	6
不満	2
回答無し	18
総計	192

(回答者数：192、回答数：192)

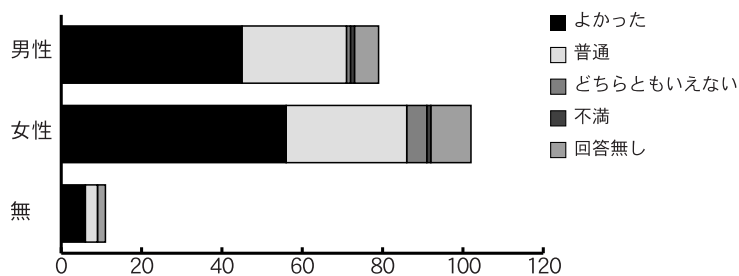
2-2 講演内容について（年齢別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
20代未満	0	1	0	0	0
20代	3	7	0	1	0
30代	8	4	2	0	0
40代	15	8	1	0	5
50代	21	14	2	0	5
60代	30	11	1	0	2
70代以上	23	12	0	0	3
無	7	2	0	1	3
192	107	59	6	2	18

(回答者数：192、回答数：192)

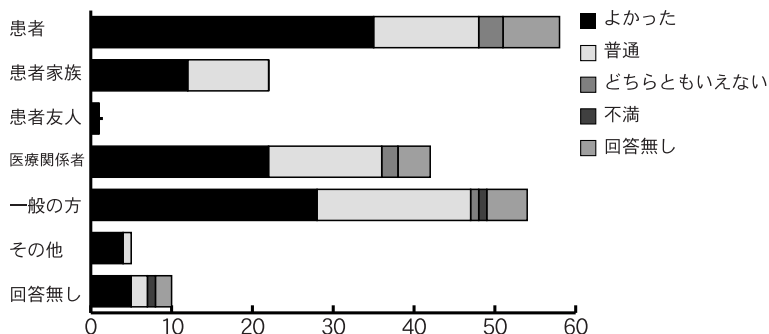
2-3 講演内容について（男女別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
男性	45	26	1	1	6
女性	56	30	5	1	10
無	6	3	0	0	2
192	107	59	6	2	18

(回答者数：192、回答数：192)

2-4 講演内容について（立場別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
患者	35	13	3	0	7
患者家族	12	10	0	0	0
患者友人	1	0	0	0	0
医療関係者	22	14	2	0	4
一般の方	28	19	1	1	5
その他	4	1	0	0	0
回答無し	5	2	0	1	2
192	107	59	6	2	18

(回答者数：192、回答数：192)

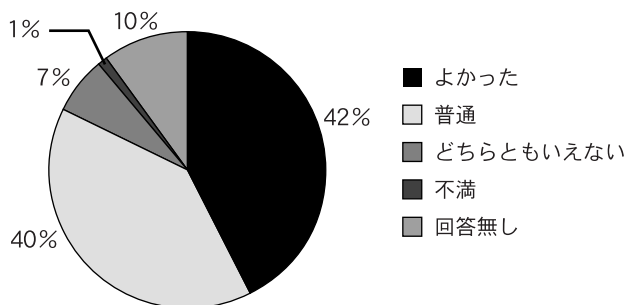
2-5 講演についての感想

- 1 総合科が早く出来れば良いです。(科目がわかれていると時間がかかる)
- 2 大学の枠をこえて取組みをしていて、感心できた。
- 3 取組みの内容が理解できた。
- 4 わかりやすかった。
- 5 がんに対する医学の姿勢として当然である。
- 6 取組みについての説明がわかりやすかった。
- 7 大変よい。
- 8 がんに関する全体像を話していただき勉強になりました。
- 9 順天堂の「得意とするがん分野」を打ち出してほしい。
- 10 ぜひ実現させて頂きたいと思います。
- 11 教育の充実化を計って下さい。人間として質も大切だと思う。
- 12 わかりやすいお話でした。
- 13 プロジェクターの内容をレジメとして予め配布して欲しい。
- 14 一般的抽象的なお話であり、十分把握できなかった。
- 15 私たちのような一般人の存在も視野に入れて下さっている点がよいと思った。お話も聞きやすかった。
- 16 もっと簡潔に話をまとめると良いと思う。
- 17 これからの意気ごみに大いに期待しております。
- 18 順天堂を越えて日本の医学(がん)の取組み方向が分かった。
- 19 取組みがわかった。
- 20 がん取組に意見ありません。期待しています。
- 21 各関係職種間共同研究に期待します。
- 22 広く共同取組について理解を深めた。
- 23 理想と実態とがかい離しないよう努力していただきたいと思います。
- 24 順天堂が他の大学と協同し、どのように取り組んでいるかがよくわかった。
- 25 主旨はわかるが、市民にとってあまり関係がないと思ったが、先生方のお話をきいたあと、あー、そういう事で力を入れているのかとわかりました。
- 26 オープニングセレモニーで市民に貴校の取組みを理解してほしいという位置づけだと思います。ただ患者としては、目の前の現実論をうかがいたく思っていました。新しい取組みは重要であり、これまで以上のご指導等々に期待いたします。
- 27 心のかよった治療をお願いしたい。

3. 講演について

木南医学研究科長「がん生涯教育センターについて」

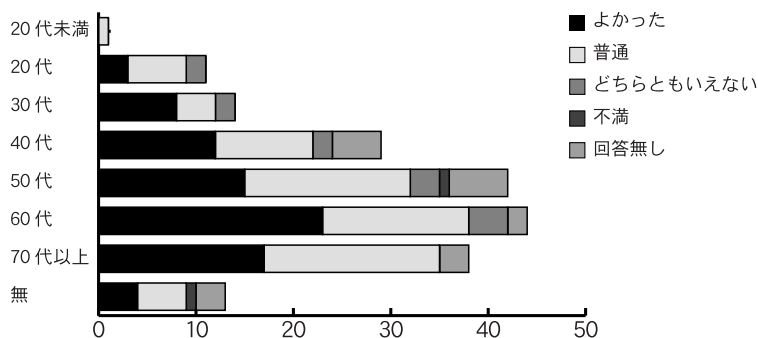
3-1 講演内容について



よかった	82
普通	76
どちらともいえない	13
不満	2
回答無し	19
総計	192

(回答者数：192、回答数：192)

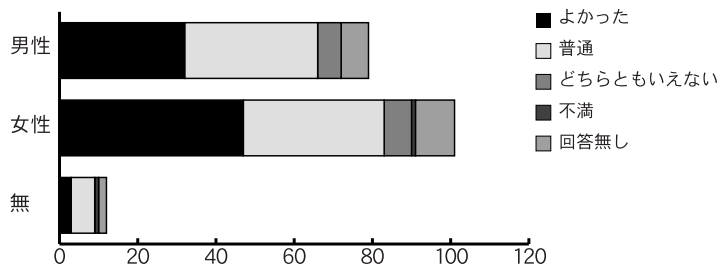
3-2 講演内容について（年齢別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
20代未満	0	1	0	0	0
20代	3	6	2	0	0
30代	8	4	2	0	0
40代	12	10	2	0	5
50代	15	17	3	1	6
60代	23	15	4	0	2
70代以上	17	18	0	0	3
無	4	5	0	1	3
192	82	76	13	2	19

(回答者数：192、回答数：192)

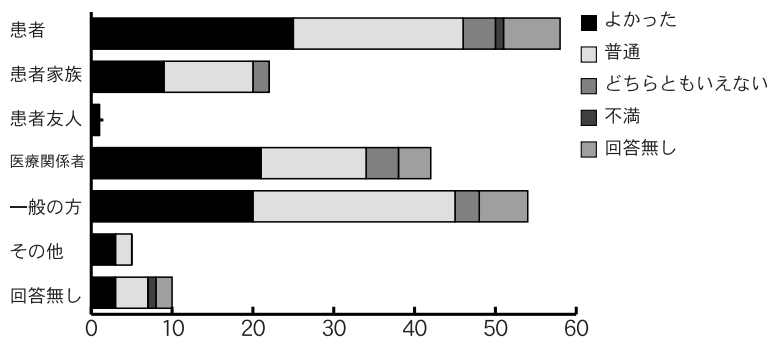
3-3 講演内容について（男女別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
男性	32	34	6	0	7
女性	47	36	7	1	10
無	3	6	0	1	2
192	82	76	13	2	19

(回答者数：192、回答数：192)

3-4 講演内容について（立場別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
患者	25	21	4	1	7
患者家族	9	11	2	0	0
患者友人	1	0	0	0	0
医療関係者	21	13	4	0	4
一般の方	20	25	3	0	6
その他	3	2	0	0	0
回答無し	3	4	0	1	2
192	82	76	13	2	19

(回答者数：192、回答数：192)

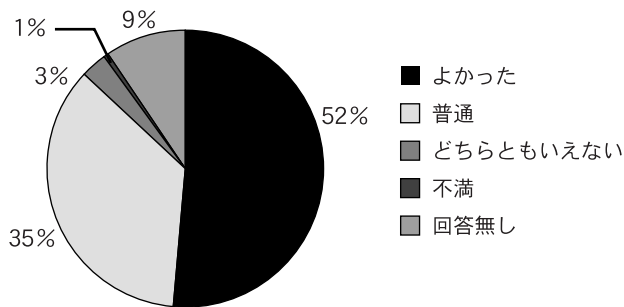
3-5 講演についての感想

- 1 少し分かりにくかった。
- 2 併存疾病。
- 3 声が少し聞きづらかったが、チーム医療について理解できた。
- 4 内容が理解できた。
- 5 少しくわしく説明があった。
- 6 がん治療に対し生涯教育の急務は非常に大切なことである。
- 7 生涯教育センターの構造をもう少し詳しく知りたい。
- 8 医療従事者としての技量は当然として「人格者」であってほしい。その点での教育は？
- 9 プロジェクターの内容はプリント版でも配付して欲しい。
- 10 順天堂大の特徴が不明確。
- 11 昔の認識のまま、立教は文系の大学と思っていました。
- 12 内容はよかったのだと思うが、少し聞きづらかった。
- 13 もう少しはっきり話すともっと聞きやすい。
- 14 スライドの文字が見にくかった。
- 15 専門用語がわからない。
- 16 今後の実行を見守りたい。
- 17 声通らず、もっと自信持って話して下さい。
- 18 細かく理解出来る説明に感謝します。
- 19 組織的取組について理解を深めた。
- 20 一般市民が対象の講座なので、この項目については概要を端的にお話しただければ、十分だと思います。やや難解でした。
- 21 教育の道すがりがしっかりしていて、高度な医療が学べると思う。
- 22 患者が苦しめない医療を望みたい。
- 23 主旨はわかるが、市民にとってあまり関係がないと思ったが、先生方のお話をきいたあと、あー、そういう事で力を入れているのかとわかりました。
- 24 オープニングセレモニーで市民に貴校の取組みを理解してほしいという位置づけだと思います。ただ患者としては、目の前の現実論をうかがいたく思っていました。新しい取組みは重要であり、これまで以上のご指導等々に期待いたします。

4. 講演について

林田先生「がん治療センターについて」

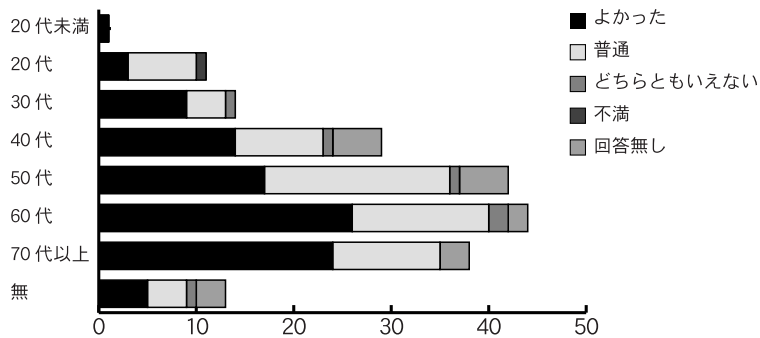
4-1 講演内容について



よかった	99
普通	68
どちらともいえない	6
不満	1
回答無し	18
総計	192

(回答者数：192、回答数：192)

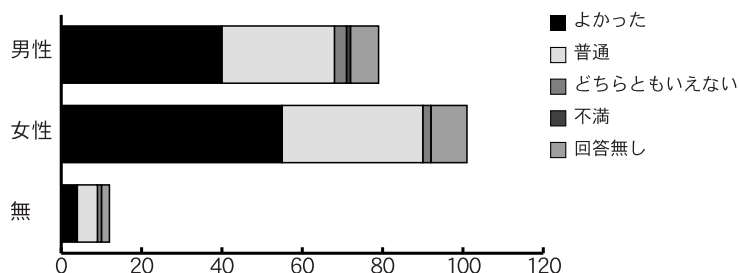
4-2 講演内容について（年齢別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
20代未満	1	0	0	0	0
20代	3	7	0	1	0
30代	9	4	1	0	0
40代	14	9	1	0	5
50代	17	19	1	0	5
60代	26	14	2	0	2
70代以上	24	11	0	0	3
無	5	4	1	0	3
192	99	68	6	1	18

(回答者数：192、回答数：192)

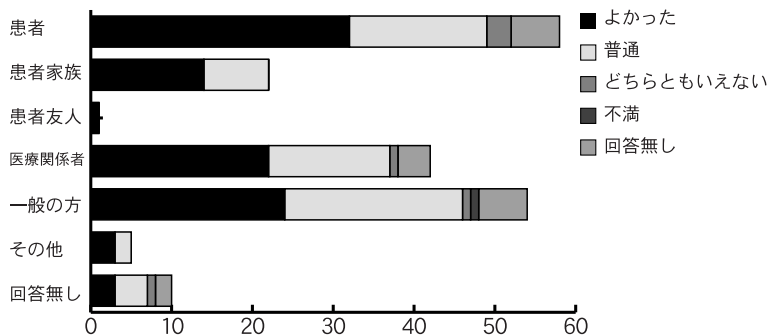
4-3 講演内容について（男女別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
男性	40	28	3	1	7
女性	55	35	2	0	9
無	4	5	1	0	2
192	99	68	6	1	18

(回答者数：192、回答数：192)

4-4 講演内容について（立場別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
患者	32	17	3	0	6
患者家族	14	8	0	0	0
患者友人	1	0	0	0	0
医療関係者	22	15	1	0	4
一般の方	24	22	1	1	6
その他	3	2	0	0	0
回答無し	3	4	1	0	2
192	99	68	6	1	18

(回答者数：192、回答数：192)

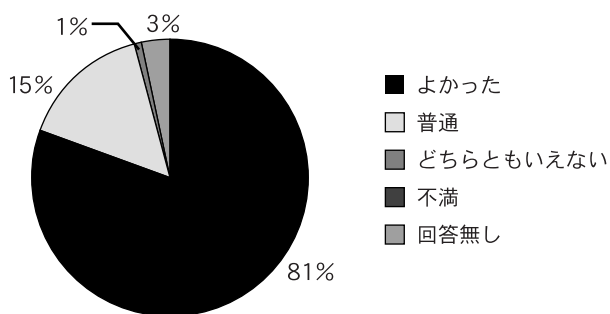
4-5 講演についての感想

- 1 がんセンターの活動および、内容が良く分かった。
- 2 緩和ケアセンター。
- 3 がん治療に対する考えがわかった。
- 4 チーム医療が理解できました。
- 5 がん治療の具体的活動がよく説明されていた。
- 6 センターについて、ケアについて理解しやすかった。
- 7 スライドが暗く、文字が見えにくい。
- 8 緩和ケアの重要性に気づいた。
- 9 センター長頑張って下さい。
- 10 終末期の患者にきちんと最期を迎えさせるのも治療の1つという言葉が印象的でした。
- 11 チーム医療の重要性。
- 12 スライドが一部見にくい。
- 13 是非、実行に移してほしい。
- 14 相談支援センターは患者、家族共に心強いものとして頂きたい。
- 15 益々のご活躍お祈り致します。
- 16 声通らず語尾はっきりしなりました。
- 17 わかりやすかった。
- 18 「がん治療センター」に期待しています。
- 19 いろいろな併存疾病を有する治療に期待します。
- 20 具体的取組について理解した。
- 21 実際の活動内容をもう少し詳しく聞きたかった。
- 22 パワーポイントが少し見づらかった。実際の活動に興味を持つ内容で今後の報告を期待しています。
- 23 オープニングセレモニーで市民に貴校の取組みを理解してほしいという位置づけだと思います。ただ患者としては、目の前の現実論をうかがいたく思っていました。新しい取組みは重要であり、これまで以上のご指導等々に期待いたします。

5. 講演について

鶴丸先生「がん治療の現状と展望」

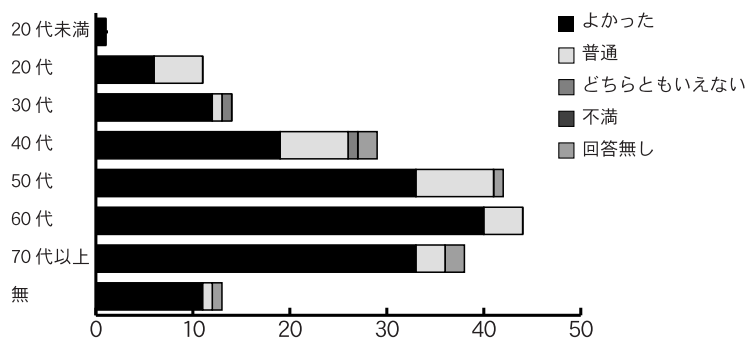
5-1 講演内容について



よかった	155
普通	29
どちらともいえない	2
不満	0
回答無し	6
総計	192

(回答者数：192、回答数：192)

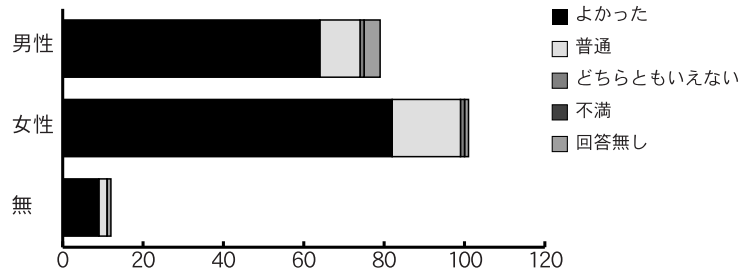
5-2 講演内容について（年齢別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
20代未満	1	0	0	0	0
20代	6	5	0	0	0
30代	12	1	1	0	0
40代	19	7	1	0	2
50代	33	8	0	0	1
60代	40	4	0	0	0
70代以上	33	3	0	0	2
無	11	1	0	0	1
192	155	29	2	0	6

(回答者数：192、回答数：192)

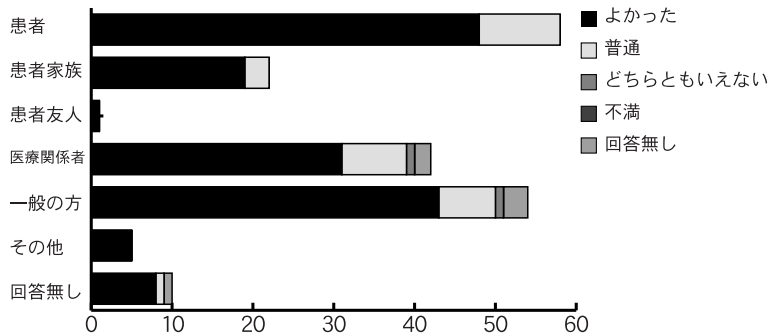
5-3 講演内容について（男女別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
男性	64	10	1	0	4
女性	82	17	1	0	1
無	9	2	0	0	1
192	155	29	2	0	6

(回答者数：192、回答数：192)

5-4 講演内容について（立場別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
患者	48	10	0	0	0
患者家族	19	3	0	0	0
患者友人	1	0	0	0	0
医療関係者	31	8	1	0	2
一般の方	43	7	1	0	3
その他	5	0	0	0	0
回答無し	8	1	0	0	1
192	155	29	2	0	6

(回答者数：192、回答数：192)

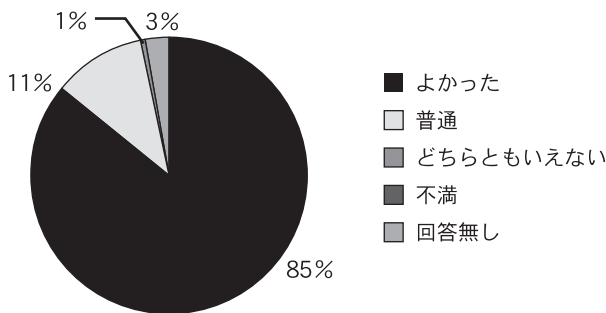
5-5 講演についての感想

- 1 少し早かったがわかりやすかった。
- 2 写真、図が見やすい、分かりやすかった。
- 3 化学療法はまだむずかしいですね。
- 4 がん細胞が小さすぎると画像診断ができないので、それをできるようにすると、早期に治療できて生存率が上昇する。
- 5 詳しかったが、講演が長かった。
- 6 もう少しゆっくりと話して下さい。
- 7 がん治療の日本の現状をどのように進展させるかがよく分った。
- 8 胃がん死亡数のカラクリには驚いた。
- 9 スライドの文字がとても小さく、全く見えない。
- 10 マイクの音量（声の大きさ）ははっきりし、聴きやすかった。
- 11 食道がんの日本一を今後も目指して下さい。
- 12 とても解りやすい説明でした。
- 13 集学的治療の重要性は理解される。
- 14 具体的に説明され良かったです。
- 15 難しい内容でしたが、わかりやすかったです。
- 16 大変具体的で良かった。
- 17 集学的治療の必要性が良く分かった。
- 18 もう少し時間をかけて話してほしかった。
- 19 年齢比率の換算は、よくはわかりませんが、数字をうのみにしないことがよくわかりました。
- 20 治療法の組合せなどについて、わかりやすく説明していただき勇気がわいてくるようなお話だった。
- 21 資料がもう少し大きく方が見やすい、声が聞きやすい。
- 22 わかり易く話していただけたと思う。
- 23 数値のカラクリの一端が理解できた。手術だけでは治せないが、手術することの大切さが分かった。
- 24 発表時間が短く、かけ足でのお話になってしまったのが残念でした。
- 25 集学的医療に期待する。
- 26 がんとはがよくわかりました、もっと知りたかった。
- 27 たいへん良かったです。
- 28 声がよく通り聞き易かった。食道がんの早期発見のむずかしさもよく解りました。
- 29 わかりやすかった。
- 30 内容も興味深く、話し方も上手でした。時間を増やし、もう少しゆっくり伺いたかったです。
- 31 治療法よく説明して下さい理解出来ました。
- 32 集学的医療の重要性とそれを実現する環境が順天堂にあるということがわかり、心強く感じた方も多いと思う。
- 33 現状データを見せていただき理解しやすかった。少し医学用語が入ると一般の人は難しく感じるかもしれないと思った。
- 34 Dr に緩和医療の知識の教育を行ってほしいです。（特に外科）

6. 講演について

齊藤先生「乳腺センターにおけるがん治療」

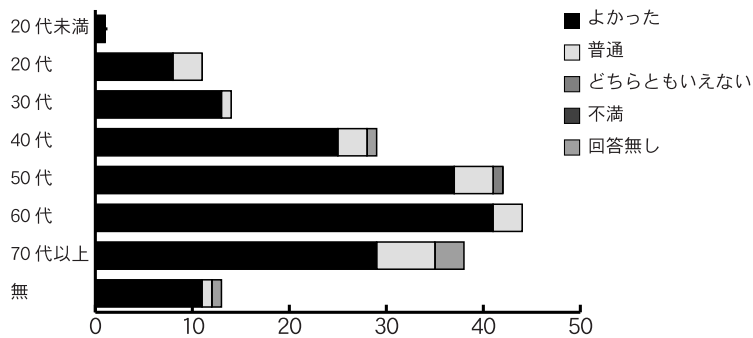
6-1 講演内容について



よかった	165
普通	21
どちらともいえない	1
不満	0
回答無し	5
総計	192

(回答者数：192、回答数：192)

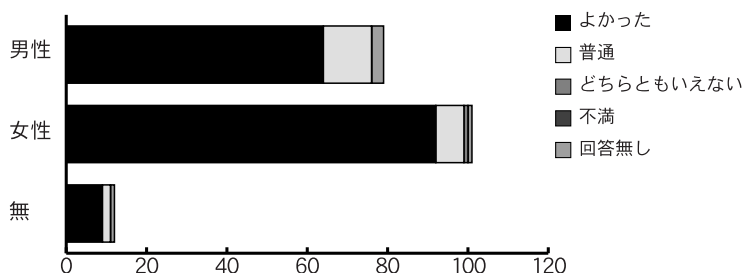
6-2 講演内容について（年齢別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
20代未満	1	0	0	0	0
20代	8	3	0	0	0
30代	13	1	0	0	0
40代	25	3	0	0	1
50代	37	4	1	0	0
60代	41	3	0	0	0
70代以上	29	6	0	0	3
無	11	1	0	0	1
192	165	21	1	0	5

(回答者数：192、回答数：192)

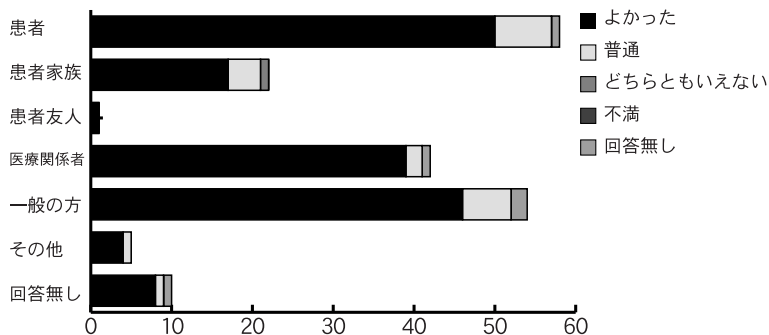
6-3 講演内容について（男女別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
男性	64	12	0	0	3
女性	92	7	1	0	1
無	9	2	0	0	1
192	165	21	1	0	5

(回答者数：192、回答数：192)

6-4 講演内容について（立場別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
患者	50	7	0	0	1
患者家族	17	4	1	0	0
患者友人	1	0	0	0	0
医療関係者	39	2	0	0	1
一般の方	46	6	0	0	2
その他	4	1	0	0	0
回答無し	8	1	0	0	1
192	165	21	1	0	5

(回答者数：192、回答数：192)

6-5 講演についての感想

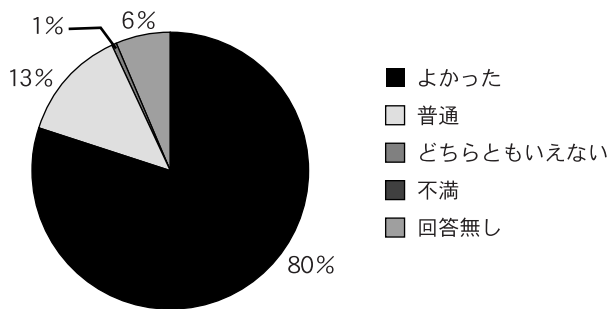
- 1 とても分かりやすい説明でよかったです。乳がん検診の必要性を再認識させていただきました。
- 2 わかりやすくとてもよかったです。
- 3 わかりやすかった。患者さんがきましたが、納得してました。
- 4 心のオーダーメイド期待してます。でも心の教育は、難しそうですね。
- 5 前回の乳がんの説明に加えわかりやすかった
- 6 互いの理解をもって行きたい。ホルモン療法。
- 7 院外でも患者と交流をもったり、研修に行ったりして、いいことだと思った。
- 8 よりわかりやすく、転移のゆく先が理解できた。
- 9 乳がんとは、乳腺センターの紹介、すばらしかった。
- 10 乳がん治療に不安を感じていましたが、お話をうかがってよく分かりました。
安心して検査を受けてみようという気になりました。
- 11 知り合いがセカンドオピニオンで順天堂を受診、こちらで治療中なのがよく分った。
- 12 乳がんの怖さがよく分った。
- 13 近年、よく耳にする乳がんについて、いろいろな点からの説明がわかりやすかった。
チーム医療についても興味深かった。
- 14 もう少しお時間を取っていただきたかった。
- 15 ますます斉藤先生を尊敬いたしました。
- 16 よくわかりましたが、少し長かった。
- 17 啓蒙活動の重要さが良く分かりました。国をあげてすべきでしょう。
- 18 とてもわかりやすく患者さんへの説明の参考となりました。
- 19 乳がんは5年でなく10年15年をみなくてはならない。
- 20 そろそろ受診してみようと思います。
- 21 患者会とはおもにどんな話が多いのでしょうか。（先生も同席しますか）
- 22 検診がもっと普及することを期待しています。
- 23 分かりやすくて良かったです。
- 24 わかり良いお話しでした。
- 25 よかったが、最後の方のパネルは読む前に変わってしまって残念！
- 26 女医さんで特に判り易かったです。今後も期待させて頂いております。
- 27 実際の実務の様子がわかり、よかったです。
- 28 医学の進歩がたのもしく感じられた。患者と一緒に病気を検討するのはいいと思う。
- 29 とてもわかりやすいお話でした。乳腺センターにおけるがん治療をもっと詳しく知りたいと思いました。
- 30 分りやすい説明であった。
- 31 治療が日進日歩だそうで、たのもしいです。
- 32 チーム医療の表をもう少し詳しく見せてほしかった
- 33 途中からだだったので最初はわからなかったのですが、よくお話をきいていると、わかるようになりました。
- 34 医学の進歩で明るい老後がみえてきました。
- 35 熱意が伝わってきた、理解しやすい。
- 36 わかりやすいと思う。

- 37 具体的によくわかるお話しで、検診を定期的に受けようと思いました。
- 38 今後の活躍を期待したい。
- 39 発表時間が短く、かけ足でのお話になってしまったのが残念でした。
- 40 チーム医療に期待する。
- 41 よく理解する事が出来ました。
- 42 非常によかった。がん治療に対する熱意が強く伝わってきた。
- 43 薬物療法や放射線治療の有効性を知ることができた。
- 44 わかりやすかった、日進日歩におどろきました。
- 45 乳がんに対しての治療方針を2年毎に世界が1つになり決定しているとの事、初めて知りました。とても希望が持てました。
- 46 女性のがん死亡第1位、生存率、原因ないなどこわいです。
- 47 早期発見、早期治療の重要性について理解できました。
- 48 市民講座にふさわしい講演で、予防の大切さをこれだけ大勢の人々が聞いても普及するには、より大変な努力が必要であると感じた。
- 49 とてもわかりやすかった。
- 50 何よりも早期発見のこと。
- 51 もう少し時間が欲しかった。
- 52 主治医（外科）にお願いして病理永久標本をみせてもらいましたが、病理医の話をききたいとのお願いは、現在の体制では無理だといわれ、これから変わると思います。でも、病理医のお話をきけること（自分の治療方針を納得したかったので）に驚き、とてもうれしく思いました。

7. 講演について

高橋先生と唐澤先生「がん治療の集学的チーム医療」

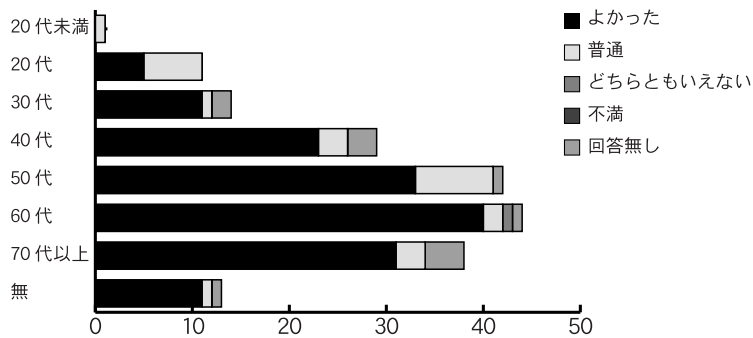
7-1 講演内容について



よかった	154
普通	25
どちらともいえない	1
不満	0
回答無し	12
総計	192

(回答者数：192、回答数：192)

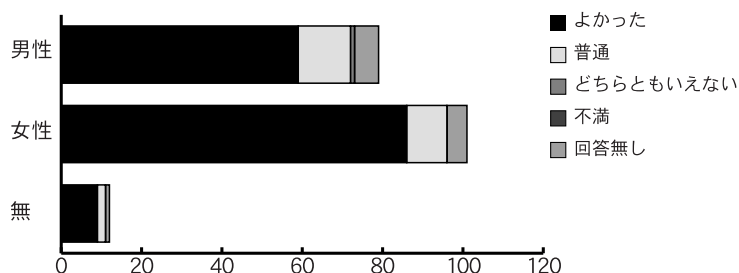
7-2 講演内容について（年齢別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
20代未満	0	1	0	0	0
20代	5	6	0	0	0
30代	11	1	0	0	2
40代	23	3	0	0	3
50代	33	8	0	0	1
60代	40	2	1	0	1
70代以上	31	3	0	0	4
無	11	1	0	0	1
192	154	25	1	0	12

(回答者数：192、回答数：192)

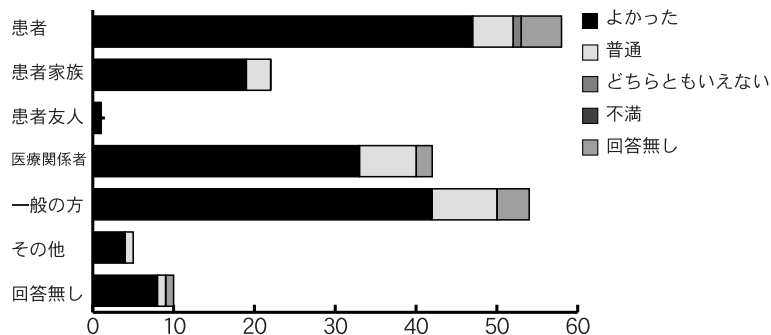
7-3 講演内容について（男女別傾向）



	よかった	普通	どちらとも いえない	不満	回答なし
男性	59	13	1	0	6
女性	86	10	0	0	5
無	9	2	0	0	1
192	154	25	1	0	12

(回答者数：192、回答数：192)

7-4 講演内容について（立場別傾向）



	よかった	普通	どちらとも いえない	不満	回答なし
患者	47	5	1	0	5
患者家族	19	3	0	0	0
患者友人	1	0	0	0	0
医療関係者	33	7	0	0	2
一般の方	42	8	0	0	4
その他	4	1	0	0	0
回答無し	8	1	0	0	1
192	154	25	1	0	12

(回答者数：192、回答数：192)

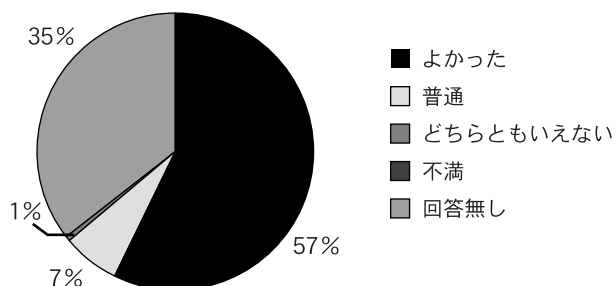
7-5 講演についての感想

- 1 内容はわかりやすかった、声がもう少し大きくお願いしたかった。
- 2 唐澤先生：放射線治療よくわかりました。
- 3 特に高橋先生、簡潔でよかった。
- 4 言語が早くても大変ためになる内容でした。
- 5 がんに対する具体的な治療の仕方が理解できた。
- 6 どの科も必要に応じてチームが組めるともっといいなど。全体にこのようなシステムが出来てよかった。
- 7 医療関係者であれば、良く理解できたが、一般の方には、もう少し具体的な写真を大きく提示してあげると良いのではなかったでしょうか。
- 8 唐澤先生：新しい言葉を知りました。高橋先生：まとまった講演でした。
- 9 放射線腫瘍医を10年で2倍にすると！感銘！
- 10 がん治療は分離集合ではなく、内容をとらえた集学的チームであるべきことがよく分かった。
- 11 放射線治療について今まで知らないことを知ることができた。
- 12 少し早くて理解しにくいところもあった。唐沢先生の声が小さくてきこえにくい。（後方）
- 13 放射線治療についての講演を大学で行ってほしい。
- 14 医学物理士の不足の再認識、緩和ケアチームの不足の認識を得た。
- 15 唐澤先生：医学物理士の不足（少ない）ことについて、おどろいた。
- 16 放射線の名医が少ないことに驚きました。
- 17 化学療法通院でお世話になっており、大変参考になりました。
- 18 集学的チーム医療についてよくわかりました。順天堂大学がパイオニアとなるよう期待しています。肺がんの早期発見がもっと可能となることを期待しています。
- 19 放射線治療の有効性に目を開かれた。この分野の医療従事者の少なさにびっくりした。特に放射線物理士。
- 20 夫が神奈川県内の病院にかかっていますが、安心の出来る説明がなくて悩んでいます。身内でも何人もがんでなくなっていますので素晴らしい事だと思います。
- 21 人材の育成にがんばってほしい。
- 22 よくききとれない所があった。高橋先生のお話はすごくわかりよかった。
- 23 アメリカに追いつくよう期待しております。
- 24 一番なじみない分野で、これからの御活躍期待しております。
- 25 放射線療法の特長を知る事ができました。
- 26 少しかけ早すぎた。
- 27 放射線アレルギーは自分もあるので納得します。放射線が有効なものと、ききにくいもの等参考になりました。
- 28 唐澤先生：集学的チーム医療の重要性がよくわかった。
高橋先生：聞いていてがん撲滅への強いお気持ちが伝わり頼もしく感じました。
- 29 声のめりはりがあり、よく説明をしてくれたのでわかりました。
- 30 放射線化学療法の治療法の違い等がなんとなく分かってきました。
- 31 資料が見やすくわかりやすい、声の大きさが少しずつ小さくなったのが残念。
- 32 がんになった時、このようなチームプレーで治療して下さることに本当に安心し、おまかせできると感じました。

- 33 発表時間が短くかけ足でのお話になってしまったのが残念でした。
- 34 マンモグラフィーを受けようと思った。
- 35 緩和ケアセンターは心丈夫です。
- 36 詳しいご説明ありがとうございます。放射線療法の希望が持てるという事等を知る事ができました。
- 37 放射線治療に対し理解できた、高橋先生声もお話しの仕方もよくよかった。
- 38 唐澤先生のお話では放射線治療について理解を深めることができた。
- 39 わかりやすかった。
- 40 高橋先生のお話は聞きやすかったです。
唐澤先生の内容は良かったですが、話し方が単調で声も小さく、残念でした。
- 41 高橋先生：組織意識改良、集学的治療、チーム医療に期待します、緩和ケアセンターあるのはうれし
いですね。
唐澤先生：放射線治療日本も25%→米国率に達し、きちんとした治療が出来るよう願っています。
頭頸部がんの疑いがあるのですが望み出ました。
- 42 放射線療法、化学療法について興味深い内容でした。
- 43 医学物理士という職種について、初めて学習した。
教育が進み、医学物理士・放射線腫瘍医が増えることを望みます。
- 44 放射線治療の有効性に目を開かれた。この分野の医療従事者の少なさにびっくりした。
特に放射線物理士の充実に期待したい。
- 45 肺がんについて、もう少し話して下さい。

8. 第2部のシンポジウム～総括について

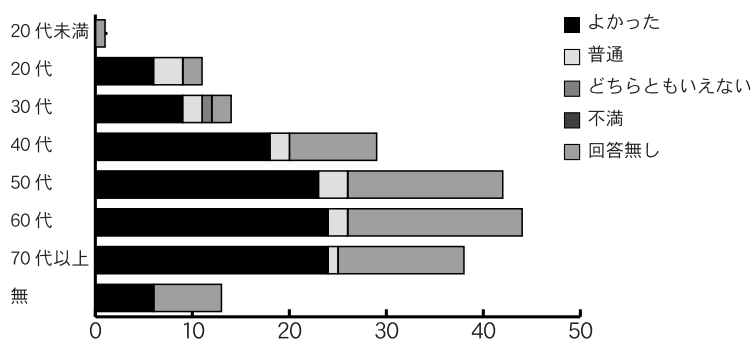
8-1 シンポジウムの内容について



よかった	110
普通	13
どちらともいえない	1
不満	0
回答無し	68
総計	192

(回答者数：192、回答数：192)

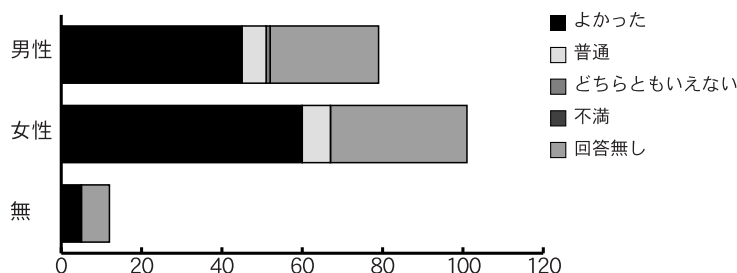
8-2 第2部のシンポジウムについて（年齢別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
20代未満	0	0	0	0	1
20代	6	3	0	0	2
30代	9	2	1	0	2
40代	18	2	0	0	9
50代	23	3	0	0	16
60代	24	2	0	0	18
70代以上	24	1	0	0	13
無	6	0	0	0	7
192	110	13	1	0	68

(回答者数：192、回答数：192)

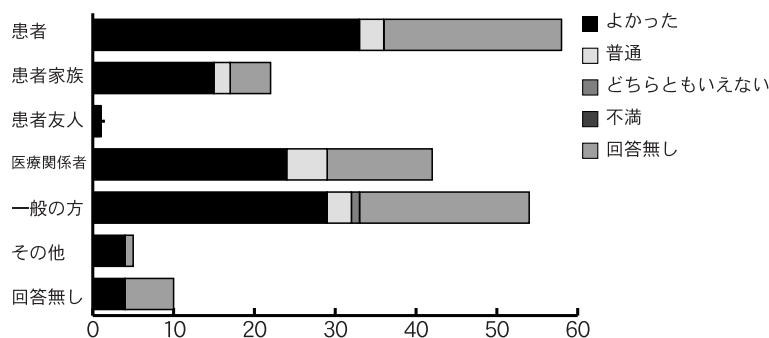
8-3 第2部のシンポジウムについて（男女別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
男性	45	6	1	0	27
女性	60	7	0	0	34
無	5	0	0	0	7
192	110	13	1	0	68

回答者数：192、回答数：192

8-4 第2部のシンポジウムについて（立場別傾向）



	よかった	普通	どちらともいえない	不満	回答なし
患者	33	3	0	0	22
患者家族	15	2	0	0	5
患者友人	1	0	0	0	0
医療関係者	24	5	0	0	13
一般の方	29	3	1	0	21
その他	4	0	0	0	1
回答無し	4	0	0	0	6
192	110	13	1	0	68

(回答者数：192、回答数：192)

8-5 第2部のシンポジウムについての感想

- 1 病々連携、病診連携のあり方を考えているものです。私個人のところでも、外来で化学療法を受けられるようにと、部門を開設はじめておりますが、患者さんの為の外来として、常により方向にしてゆきたいと考えております。あらゆる方向から工夫が、そして我々医療人が常に研鑽してゆかねばと再確認させていただきました。ありがとうございました。
- 2 一般市民にもわかりやすい説明でした。
- 3 司会がしゃべりすぎ。
- 4 食道がんに移行する不安を持っています。早期発見を心がけ定期検診を毎年行っています。ありがとうございました。
- 5 始めの時間がずれておそくなったが、なるべく始めの時間は守って進行するとよかった。放射線療法が進歩しているがよくわかった。
- 6 放射線の有用性を良く理解してもらおうという主旨が良くわかりました。斉藤先生の率直なお答えが、同じ母親として仕事をする者として共感できました。がんばって下さい。
- 7 来春出発！
- 8 具体的なお話しも勉強になりました。
- 9 しかし、唐澤先生の声ははっきりしない。後方席を意識して下さい。
- 10 質問に答える時間を長くとってほしかったです
- 11 今後も時々公開講座をして下さい。
- 12 期待大です。
- 13 いろいろな立場の医師から意見をきくことができ、よかった。
- 14 樋野先生の最後の講演、スライドも印象に残った。いいしめでした。
- 15 先生によって、よく説明をして下さるようで色々ありがとうございました。
- 16 林田教授の司会が良かった(パネルディスカッションの成否は司会者の力量に負うところがないか)。パネラー全員の熱意が伝わった。データ採りや分析、考察、考証が大切であることを再確認した。久しぶりに実りの有るシンポジウムだった。
- 17 具体的なお話しで、どの先生も非常に解り易かった。特に斉藤先生、高橋先生。
- 18 一般市民として、普段なかなか知り得ないことを学ばせて頂きました、ありがとうございました。
- 19 うれしくて涙がでました。樋野先生、来て良かったです。はげまされました。
- 20 具体的で良かった。
- 21 皆の意見に対する御返事は良く理解できました。
- 22 質問書記入しまして答えていただき、本日出席出来て、本当に良かったと思っています。感謝します。
- 23 シンポジストの先生方はどなたも誠実で、専門的なことをわかりやすくお話いただき、満足です。
- 24 それぞれの専門の先生方のお話でわかりやすかった。
- 25 現実的でよかった。
- 26 教育者として大変考えさせられる会でした。

9. 次回以降のシンポジウムで取り上げて欲しいテーマは？

- 1 「あらゆるがん疾患の早期発見の具体的手法」など。
- 2 アレルギーの病気。
- 3 胃がん。
- 4 医師と患者の程良い関係。
- 5 医師の本当の技量とは---
- 6 痛風、糖尿病、痔。
- 7 うつ病などメンタルの問題。
- 8 うつ病について。
- 9 各臓器ごとのがんについて、もっと具体的な内容を希望します。
- 10 がん検診に関して。
- 11 患者同士でのコミュニケーションの意義について。患者家族⇄患者のコミュニケーションの在り方について。コミュニケーションにおけるインターネットの可能性について。
- 12 がん治療センターでの実際の症例を紹介してほしい。緩和ケアの症例を紹介してほしい。
- 13 がん治療と費用の問題、特に早期発見の為に診療を受けやすくしてほしい。
- 14 がん治療に関するもの。
- 15 がん治療費について。
- 16 がん治療を始める前立腺がんの患者。
- 17 がん専門薬剤師、がん専門看護師に関するテーマ（具体的な将来像など）をお願いします。
- 18 がん専門薬剤師について詳しく。
- 19 がんに対する薬物療法における副作用、抗がん剤への耐性。
- 20 がんにならないための生活。
- 21 がんの治療について、薬剤師、看護師との関係、役割。これからのチーム医療。
- 22 がんの治療について、薬剤師、看護師との関係、役割。これからのチーム医療在宅ケアについて。
- 23 緩和医療。（がんにおける）
- 24 緩和ケアについて。（4名より）
- 25 経済面の支援は？ご助言など。
- 26 研究面について知りたいと思います。
- 27 抗がん剤治療と代替医療を合わせた総合医療の現状と将来。
- 28 抗がん剤について。
- 29 心のケア。
- 30 個別のがんにしぼった治療方法について、セミナーを開いてほしい。
- 31 今回以外の科を取上げて下さい。少ないのはあまり聞くことがないので、なぜと理解出来ないものもある。
- 32 今回以外のがんについて。
- 33 今回で終ることなく是非2回目以降続けてほしい。
- 34 自分は骨粗症で有り、筋肉が弱く骨に関するお話しも聞きたいです。
- 35 終末期医療と死生感。
- 36 終末期医療について。

- 37 順次症例をあげて説明をお願い致します。
- 38 消化器系をテーマに。
- 39 女性のがんについて。
- 40 自律神経失調症、ストレスによる睡眠障害。
- 41 腎臓病とくに腎臓結石について、眼科緑内障、白内障。
- 42 末期がんとホスピス。
- 43 専門医の話し、そして専門看護師のシンポジストの参加を期待している。
- 44 前立腺がん、甲状腺がん。
- 45 それぞれのがんに対してもうすこしわかりやすく話をして下さい。
- 46 大腸がんについて、くわしく知りたい。(2名より)
- 47 地域医療について。(地元医療との連携など)
- 48 血液について、人体における水分について。
- 49 適応障害、うつ等、心の問題について。
- 50 膠原病について。
- 51 日本と海外のがん治療の相違点。
- 52 乳がん。
- 53 認知症とその予防、日常の運動、食事など、具体的に。含む早期発見と対応等。
- 54 脳硬塞など如何でしょうか？
- 55 脳疾患について。
- 56 脳血管の病気。
- 57 肺炎、喘息。
- 58 婦人病。
- 59 放射線治療について、がん種類別に。
- 60 保険医療と実費医療について。薬等、欧米に比べ認可が遅いようですので、がんの早期発見の方法は？
- 61 本日のテーマ(特に集学的治療)の進捗状況。
- 62 緑内障の手術について。
- 63 難しい課題ではあるが予防について。(原因が判明ではあるが)
- 64 免疫疾患の現状と今後の課題。
- 65 もうすこしゆっくりと時間をとって患者にわかるように話をして下さい。
- 66 予防の医学。

10. これからの医療に求めるものは？

- 1 3時間待ちの3分診療ではなく、もう少し余裕のある診察を希望。
- 2 暖かい医療。
- 3 新しい学説に眼を光らせて進歩的な医療をしてほしい。
- 4 安全、安心、納得。
- 5 いいお医者さんが育ってくれますように。
- 6 医師、薬剤師、看護師 etc. の質の向上。
- 7 痛みとどうつき合うか？
- 8 痛みの少ない治療、免疫治療について保険での認可、研究を早めてほしい。
- 9 医療従事者の人間性。
- 10 医療とケアについて。
- 11 医療とは、疾患治療だけでない、精神的治療も大きいのではないか。
- 12 慈恵に通院していましたが、検査機械がこれほど違うのかと驚いてしまいました。技術と信頼、何よりも患者の声を感じて下さい。
- 13 オーダーメイド医療の実現。厚労省の現場の考えの理解、行政向上。
- 14 外科的、化学的治療はもちろんのこと、心のケア。
- 15 外来での待時間が長過ぎ。
- 16 各科、地域医療とのネットワーク。
- 17 各専門のチーム医療。
- 18 患者が苦しまず、なやまず過ごせるか（自分勝手でしょうか）。
- 19 患者、そして家族の心のケアを含めての医療を考えてほしい。センターの設立はうれしいものです。
- 20 患者中心の医療が進められること。
- 21 患者と医師のコミュニケーションが大切だと思います。
- 22 患者とよくコミュニケーションが出来る医師。
- 23 患者に対して親身になれること。医療従事者の質の向上。
- 24 患者に判りやすい病名、治療説明を。
- 25 患者の心の問題を考えていくこと。
- 26 患者の精神ケアと考慮した医療を順天堂からお願いします。
- 27 患者の立場に立った医療。
- 28 患者の立場に立った思いやりの有る医療、出来ることは出来る、出来ないことはできないとはっきり伝える。患者の社会的地位、富でなく、症状に応じた医療の提供。
- 29 患者の立場にたったの医療。
- 30 患者の立場へのより深い配慮。
- 31 患者一人一人のニーズに合わせた治療。医師と患者の情報の共有。医師と患者が対等な立場で話せる環境作り。
- 32 患者をあちこち移動させるのではなく、力説されていたように集学的に治療していただけるとよいと思う。それに精神的な面でのサポートも加わってほしいと思う。
- 33 がん治療にかかる費用の低下。（高度先進医療）
- 34 がん難民をへらすこと。

- 35 がんの末期に家族がどのように接していけばよいのか。
- 36 がんの専門医を増やす。
- 37 がんの早期発見につながるよりよいスクリーニング検査や器具の発見、開発、研究。
- 38 がんのみならず他の医療も細かく心をくばってほしいと思います。
患者に優しさを忘れずに、頼れる医者になってほしいと思う、順天堂のためにも。
- 39 緩和ケアの充実。
- 40 今日シンポジウムでの各先生方の夢の実現に努力して頂きたいと思います。
- 41 検査結果の「ロボット」ではなく医師本来の人柄を生かした、心に患者の気持の理解出来る力。
患者からみて「ホッ！」と出来る先生になってほしい。
- 42 高度化するがん、諸先生大変でしょうが、頑張って戴きたい。
- 43 効率的に資源の分配、お金、人員、施設。
- 44 高齢者への負担率を早く下げてほしいと願います。
- 45 個人にあったオーダーメイド治療。サービスの充実。メンタルケアも含めた医療サービス。
- 46 最新、最良の診療。
- 47 先進医療の負担軽減。
- 48 先端医療も大切ですが、一人のひとを全体として診られる総合内科というようなものが必要ではないでしょうか。そしてそのような力量のある医師が地域の診療所にいらして、その地域の人々の健康を支えてもらえたらいいなと思います。
- 49 職種や医局のワクを越えた医療、患者中心の集学的医療の発展を望んでいます。
- 50 治療より予防の心得について。
- 51 治療率が上がるのがベスト。
- 52 過剰医療をしないでほしい。
- 53 専門医にかかれる病院を多くしてほしい。
- 54 専門医療の推進はもちろん、オーダーメイド医療、患者第一の医療を言葉だけでなく、実践して欲しい。（医療スタッフの充実）
- 55 早期発見が最良の治療ですか？せっせと定期検診を受けましょう。
- 56 それぞれの分野1本の医療医院が多くあっても良いと思います。
- 57 地域。
- 58 チーム医療。
- 59 チーム医療での治療。専門医療人の育成。
- 60 チーム医療の医療施設（病院）での実施。
- 61 辛い治療の発展。
- 62 唐澤先生が最後にお話して下さったことは、とても大切です。
患者の為になる治療が安心して受けられると言うことです。
- 63 どの病院に行っても手術した時からのCTやPETなど、診療が全国で医師が共有出来たら手術後、地元で安心してかかれる。乳がんなどは何年がかりなので手術した時の説明書一枚で転院するのが心配です。
- 64 乳がん→500円玉の大きさになる前に、しこりが発見できるようにし、少しでも治療期間を短くしてほしい。
- 65 人間性。
- 66 人間を大切に。
- 67 人を社会生活を営む個人として。
- 68 病気になるようにする医療。

- 69 不安をとりのぞいて欲しい。
- 70 不妊医療の経済的、心理的バリアーを低くすること。
- 71 古い観念のみにとらわれない、フレキシブルな考え方！
- 72 放射線医療の人材育成。
- 73 迷わないこと。
- 74 もっと治療費が安くなるとよい。
- 75 もっと治療効果を高め、治療費を安くすること。
- 76 より高度な医療体制の充実を希望します。
- 77 私の主人は12年前、大腸がんになり、全身の骨に転移し、半年で死亡いたしました。
発見まで1ヵ月もかかり、すでに手遅れと言われ、ただ見ているだけだったということにくやしく思っています。12年前このような医療チームがあったら、治ったかもしれないと感じました。

11. これからの教育に求めるものは？

- 1 10/6（土）本講堂における乳がんセミナーに参加させていただき、本当にありがとうございました。最後に斉藤先生が参加している医学部生さん達に「（パネラーの皆の声を）しっかり聞いていますね？」とおっしゃった姿が全てだと思いました。
- 2 名医たらずとも良医たれ！
- 3 医学のことはわかりません。（それぞれの先生方にこれぞと思う自分に納得の行く医療をお願いします）
- 4 医学の知識技術のみではなく、心理的な面での教育が必要。「心のいたみがわかる」人間的な医師がほしい。
- 5 医学プラス人間性の向上。
- 6 医師、看護師不足は、何とかならないのでしょうか？
- 7 医師としての徳育。
- 8 医師にあっては人間性。（順天堂は出来ていらっしゃると思います）
- 9 医師の質の向上→医学生のやる気を上げるようなものを行う。
- 10 医師の先生の患者への接し方。
- 11 医師の人間性の向上。
- 12 医師不足に貢献して頂きたい。
- 13 医療技術の向上だけでなく、心理学、哲学などの知識もチーム医療を行う上では必要ではないかと思う。
- 14 医療だけではなく、修身的な事も考えて下さい。
- 15 医療知識の普及。
- 16 いろいろな病気について知識を得ることが肝要。
- 17 患者の気持がわかる、人間的にすばらしい医師をそだててほしい。「生涯の学徒」であるとはいいことばです。
- 18 患者の気持を大事にする。
- 19 患者の訴をしっかりと受け止められる医者。
- 20 患者の立場に立つ人間としての教育。
- 21 がん専門医の育成。
- 22 がんと宣告された時、本当にガックリとなります。
このどん底に在る者に何とか生きる気力を起こさせるような信頼のある医師になってほしい。
- 23 技術はもちろん大事ですが、人間性も高めてほしい。
- 24 基礎のしっかりした根拠ある教育？
- 25 基本をしっかりとした教育は絶対必要と思う。たとえ、研修医であっても、医療従事者は、医師であることは忘れてほしくない。
- 26 コメディカルの育成、やはり医療が医師中心だけでなくチームとして患者をケアする教育を行って頂きたい。
- 27 社会のニーズに合った教育。
- 28 終末期の人をいかに受けとめてあげることができるか、形式的でなく、その人間の生を受けとめられるような（マニュアルでなく）人間性を育てることが必要なのではないのでしょうか。

- 29 小学生の頃より病気に関して関心をもつ様、話を取り入れてほしいと思います。
- 30 人格ある Dr.
- 31 すでに順天堂で実施されていますが、治療現場での検診や相談（限定されますが）も若い研修医の方や大学院の先生にも見ていただくことが（話し方や対応のしかた）大変重要だと思います。
- 32 精神面。（患者の顔も見ずに対応するのはやめてもらいたい）
- 33 専門医育成のための、より特化した環境づくりと専門教育。
- 34 専門医の教育を高める。がんが治る治療法を研究。
- 35 専門性。
- 36 地域差が早くなくなる様に、すべての Dr に基本的な事がゆき渡る様にしてほしい。現在の診療されている医師にもリカレント教育の場がありますように。
- 37 哲学。
- 38 人間性。
- 39 人間的な成長（道徳、倫理感）をぜひ促すようなカリキュラムを期待したい。
- 40 人間の全体を見わたせる人材を多く出して下さい。
- 41 人創り。
- 42 人として人に対する思いやることのできる教育を！まだまだ医者においてもその真について足りない人たちがみうけられます。
- 43 人の痛みのわかる医師の養成。専門的知識のある看護師の育成。
- 44 一人のひととしての人間教育が第一。
- 45 病院、医師の立場を押しつけるのではなく、患者の話しをもっと良く聞いてほしい。（患者が気がつかってしまう）
- 46 不足している専門医の教育。
- 47 不足している分野（例えば、産婦人科、脳神経外科・・・）に医学生が多く進むよう指導してほしい。
- 48 放射線治療の良さを進めてもらいたい。
- 49 本日のテーマそのものです。（分業化された医療ではなく、専門→総合医療をめざすチーム医療）
- 50 前進のみ。
- 51 誠心誠意の心を育てること。
- 52 無駄な教養科目を廃し、将来に役立つ教育を。
- 53 無知な患者にも、辛抱強く指導して下さる先生。順天堂には、そうした先生が多いので安心できます。
- 54 やはり病気に対し、動揺している患者に、Dr と共に闘っていただける様に。

12. その他ご意見

- 1 ありがとうございます。
- 2 ありがとうございます。勉強になりました。
- 3 医療も細分化して全体をみられる Dr がもっと多いといい。
- 4 いろいろと勉強に成りました。ありがとうございました。
- 5 お忙しい中、時間をいただきありがとうございました。
- 6 外国からの医学部生、医師も教育してほしいです。
- 7 各先生方のお話しの中身が大変深い。専門的なお話しのため、聞く者としては一回では理解できないことが多いので、次回もがん治療のお話を計画してほしい。
- 8 がん患者もそうだが、みる家族ががんの場合（看病する側が）どのように気持ちをもって看とればよいのか。
- 9 患者としてさらなるセンターの充実を願っています。
- 10 患者を含めたチームで、共に誠心誠意、努力を重ね、意識、及びモラルの高度化（質の高い医療文化）の醸成を望む。
- 11 がん治療の現状における問題点を網羅したシンポジウムと思いますが、この壮大なテーマ、教育をコーディネートする強力な人材が存在するのか？（横断的な）
- 12 がん生涯教育センターが開設された事、大変よろこんでいます。発展を祈ります。
- 13 がん専門医が少ないのにおどろきました。かなり「がんとは」が理解できました。ありがとうございました。集学的医療が出来る病院が多くなることを望みます。
- 14 緩和ケアを重視している点が素晴らしい。
- 15 基本的に医療サービスは医療機関が提供し、心のケアは他の専門家もしくは友人家族、あるいは患者同士で提供できないか、そのような体制が少しでも進めば、医師の忙しさはやわらぐのではないか。
- 16 講演は難しく理解しづらかったのですが大変勉強になりました。パネルディスカッションは楽しく参考になりました。ありがとうございました。
- 17 このシンポジウムは是非とも長く続けて下さい。いつも有難うございます。
- 18 今回のような公開講座の他に、地域教育、社会教育、通信教育をどのようにすすめていかれるのかが知りたいところです。
- 19 今回のようなシンポジウムを定期的で開催して欲しい。
- 20 参考になりました。希望がわきました。
- 21 質の高い患者中心の医療と看護を提供できるような人材が育つような教育をぜひとも望みます。自分のがんを患い、戦っています。しかし、安心して順天堂で手術、治療を受けることができ、幸せに思います。私は、本学の卒業生ですが、センターの発展を期待しています。
- 22 市民講座をどんどん開催して下さい。
- 23 主人は当院で50年前に脳腫瘍の手術と放射線治療により現在（1年前）脳梗塞を発生、要介護1です。酒もタバコも、又暴飲暴食の生き方をしてきましたが、手術後の生活指導についても、今後の人達によりしく願います。
- 24 順大の意気込みがよくわかりました。研究だけではなく患者にとっていい医療であるよう望みます。いただいたボールペンとても書き良いものです。

- 25 順天堂医院では「〇〇様」と呼ばれますが、大変嬉しいことです。看護師さんも皆さんがやさしくていいので嬉しく、他の病院でも見習ってほしい教育だと思います。ただ外科が混み合い2~3H待つこともあって疲れてしまいます。本日のシンポジウムは専門的知識も多く、早く大変ですが、とても大切な機会だと有難く思います。
- 26 順天堂医院は、他院に比較すると入院費が高い。
- 27 順天堂で診察していますが、曜日が限られているが、診察曜日を広げてほしい。
- 28 順天堂の医療については良く理解出来たが、私達患者がどう治療や生活をしていったら良いか、患者がどうすれば良いか。
- 29 シンポジウムがはじまる前、少しPRで病院、女性外来等、大学のビデオでも投影してはどうか。机のない席には画板がなにか借してはどうか。(机の席が一杯の時)
- 30 シンポジウムは非常に勉強になります。今後もよろしく願います。
- 31 スライドの文字が小さく、中には全く見えないものがあつた。音声も聞きとりにくい時もあり、20代の自分が理解しにくいので、視覚、聴覚の劣える年配の方々には全く分からない人も多かつたのではと思う。
- 32 説明のスライドを印刷して配付されたい。
- 33 素人の受講者としては内容が多く、講義のスピードが速く、もっとテーマ(がんの種類)をしぼってゆっくり聴きたい。
- 34 第一部全般について、プロジェクターのデータはプリントして、レジメとして配付して欲しい。
- 35 大学病院であるからなのでしょう。患者のなかに生活を維持できない方はいらっしゃるのか…。チームケアが医者中心(あるいは医療)であるように感じました。当たり前といえばあたり前ですが、患者中心に考えた場合、サイコオンコロジスト(どこにでもいるわけではない!)のほか、臨床心理士やMSWなど、少し幅広いチームは必要ないとお考えなのでしょう。心のケア部分にももう少しあつみがほしい!です。
- 36 大変お忙しい折、このような勉強をさせていただきまして本当に感謝致します。こちらの病院は大変アットホームで驚いております。医師、看護師、事務の方他スタッフの方々がとても自然で、不思議な位です。患者はHPなどで、東京の病院の比較などかなり必死でさがしていると思うのですが、たとえば私は初診時早朝5:40から並び初診整理券入手しましたが、6時、7時のスタッフの方々の対応には素晴らしい気配りでびっくり致しました。知人からの口コミで「親戚がお世話になったが、私が患者だったらここに入院したい」のひとことで紹介状を書いていただきました。ここまで患者の精神的負担を軽くしていただける病院にお世話になることができ感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
- 37 大変頼しく思いました。
- 38 たいへん分かり易いご解説を有難うございました。希望の光の見えるとても素晴らしいシンポジウムでした。
- 39 確かにいろいろな格差があり、もし私が乳がんといわれても貴院へ通って最先端の治療をうけれるか(体力的、金銭的など)疑問です。しかしこのようにファイトのある先生方がいらっしゃるということがわかり、私達も又がんと戦っていこうと思つました。
- 40 チーム治療の話が多々あつた中で栄養士の話が全く出ず驚きました。まさに時代遅れと伝えざるを得ません(患者の立場から)。先生の中で病院食を食べた方がいますか?ご一考を!
- 41 父も、私も全面的に信頼し、安心しております。
- 42 通知、連絡が遅いです。仕事の都合で友人が来られません。次回は、そのようなことのないよう、早めにご連絡方いただきたく存じます。
- 43 定期検診による早期発見の重要性を再確認した。次回も是非出席したいと思つます。

- 44 何名かが発表してくださる場合、内容によって設定時間を変えてほしい。もっと、じっくり聞きたい方、途中で退屈してしまう方がいました。
- 45 日本のどこにいても、いい治療を願っています。
- 46 葉書(通知)が1週間前ですと遅すぎます。せめて2ヵ月いや1ヵ月前に連絡する努力をして欲しい。今回、友人がどうしても仕事の都合で来られなくて非常に残念でいます。そういう方の声を強く受けとめていただきたく存じます。
- 47 パワーポイント見にくいものが多かった(特に前半)色あいや文字数を少なくして図、写真を多くするなど、視覚的に訴える工夫が必要だと思います。
- 48 非常に良い試み、今後も続けて下さい。私の静岡県伊東市の知人は静岡病院に救急で入った。残念ながら8月に死亡したが、非常にいいに治療してもらったと家族は感謝しています。
- 49 病気がわかってから、周囲でインターネット等、調べてくれました。情報をもっている人、もっていない人の差が大きいと思いました。最近新聞でもよくとりあげられているが、法律施行でキャンペーン中とわかりました。
- 50 勉強させていただき感謝! ありがとう御座いました。
- 51 本日はありがとうございました。大変、ためになりました。これからもよろしく願いいたします。
- 52 毎回とても参考になる。良い勉強をさせていただいております。次回のシンポジウムを楽しみにしています。◎スタッフの皆様ごくろうさまです。
- 53 難しい話もありましたが、分かりやすい説明はとても分かりやすかったです。がんについての知識、乳がんについての知識がつかえました。
- 54 もう少し、大きい声がマイクの音量を大きくしてほしい。
- 55 私は、薬を4種類のんでいますが、4年と言う長年のんでいて良いか不安です。行く未はがんになるのでは心配でなりません。
- 56 私は今現在、ほかの病院で手術をして、現在は抗がん剤治療をしています。乳がんだっていわれ、本当におちこみました。もし、転移しているとすれば、時々MRIやCTをとったりすれば、よろしいのでしょうか?
- 57 私は順天堂様の患者ですが、先生方には良く見て頂きありがたさしかありません。ぜひ、シンポジウムを続けて頂きたく思います。

— アンケート用紙 —

1.講演について

- 1)小川理事長・学長「がんに対する順天堂の取組み」
・よかった ・普通 ・どちらともいえない ・不満 (ご意見等)
- 2)木南医学研究科長「がん生涯学習センターについて」
・よかった ・普通 ・どちらともいえない ・不満 (ご意見等)
- 3)林田先生「がん治療センターの活動」
・よかった ・普通 ・どちらともいえない ・不満 (ご意見等)
- 4)鶴丸先生「がん治療の現状と展望」
・よかった ・普通 ・どちらともいえない ・不満 (ご意見等)
- 5)齊藤先生「乳腺センターにおけるがん治療」
・よかった ・普通 ・どちらともいえない ・不満 (ご意見等)
- 6)高橋先生と唐澤先生「がん治療の集学的チーム医療」
・よかった ・普通 ・どちらともいえない ・不満 (ご意見等)

2.第2部のシンポジウムは、

- ・よかった ・普通 ・どちらともいえない ・不満 (ご意見等)

3.次回以降のシンポジウムで取り上げてほしいテーマは？

4.これからの医療に求めるものは？

5.これからの教育に求めるものは？

6.その他ご意見等ありましたらご記入ください。

ア) このシンポジウム開催を何で知りましたか？

- ・ホームページ ・ポスター ・案内状 ・知人 ・新聞 ・その他 ()

イ) 年齢は、・20代未満 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代以上

ウ) 性別は、・男性 ・女性

エ) お住まいは、・東京 ・神奈川 ・埼玉 ・千葉 ・静岡 ・その他 ()

オ) 本日来られたのは、

- ・患者として ・患者家族 ・患者友人 ・医療関係者として ・一般の方 ・その他 ()